

2011年12月20日

各位

株式会社ジェイ・パワーシステムズ

News Release

台湾本島・澎湖（ポンフー）島間の海底電力ケーブル敷設プロジェクトを受注

株式会社ジェイ・パワーシステムズ（代表取締役社長：福永定夫、本社：東京都港区、以下「JPS」）と住友商事株式会社（取締役社長：加藤進、本社：東京都中央区、以下「住友商事」）は共同で、台湾の電力会社である台湾電力公司（以下「台湾電力」）より台湾本島と台湾南西部沿岸から西に約60km離れた澎湖（ポンフー）島を結ぶ海底電力ケーブル敷設プロジェクトを受注しました。

本プロジェクトの契約金額は約320億円です。台湾本島とポンフー島間 約60kmを結ぶ、161kVの単相・光複合海底電力ケーブル6本を敷設するフルターンキープロジェクトです。JPSが海底電力ケーブルおよび付帯設備を製造し、住友商事はJPSと共同で海底電力ケーブルの敷設および関連土木工事を行います。本プロジェクトの総敷設距離は350km以上、敷設深度は最も深い所で約150mありますので、この種の高圧海底電力ケーブルプロジェクトとしては世界最大級のものになります。

ポンフー島は漁業と観光を主産業としており、サンゴ礁など豊かな自然を有する美しい島です。台湾では同島の自然を保護し「低炭素島」と呼ばれる低炭素社会のモデルアイランドを構築するために、同島の再開発を進めています。その一環で現在、同島の電力供給源であるディーゼル発電所を廃止し、風力発電所を建設する等、再生可能エネルギーへの移行促進を図っています。その中において本プロジェクトは、本島からの電力調達を通じて移行期における電源安定化という重要な役割を担っており、ポンフー島の低炭素島構想を実現する上で必須のプロジェクトとして位置付けられています。

JPSと住友商事は今後とも海底電力ケーブル敷設プロジェクトにつき積極的な取り組みを継続させていただきます。

【参考： 海底ケーブル敷設のイメージ写真】



以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社ジェイ・パワーシステムズ 総務部

Tel (03)5232-4700、 Fax (03)5232-4717

E-Mail : jpspr@jpowers.co.jp

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MTビル 8F

URL: <http://www.jpowers.co.jp>